

F B 通信

うつのみや

フードバンク
うつのみや

②6 -2023/2/25- //2019年1月15日創刊//

NPO法人フードバンクうつのみや
栃木県宇都宮市埜田 2-5-1 共生ビル 1階
TEL 028-348-3412
URL <https://fbu2189.org>
FAX 028-623-6036



宇都宮ブレックス×フードドライブ！

190kgの食品が集まりました 牧岡健 (FBうつのみや・事務局長)

◆ BREX 観戦者にも広がる助けあいスピリッツ

冬のブレックスアリーナが HOT に

昨年 12/3 と今年 2/11 に、宇都宮ブレックス(プロバスケットボール)の公式戦ホームゲームにおいて、フードドライブ(食品寄贈の受付)を実施しました。12/3は【106.8 kg】、2/11は【83.8 kg】もの食品が集まりました。観戦者の目的は試合観戦。しかし、多くの人が食品を携えて訪れてくださいました。「栃木でも実施されてうれしい」「今どんな食品が足りないの?今度持ってくるからね」「今日だけなの?もっとやりなさいヨ!」という声もいただけて、とても充実した活動になりました。

◆ プロチームとして県民に還元する。

ともに、問題解決のチャレンジを

今回の実施にあたり、ご尽力くださったホームタウン推進グループマネジャーの今井英二郎さんからのコメントです。

— 宇都宮ブレックスは栃木県で活動するプロチームで、県民の皆様あつての存在です。今回フードドライブと一緒に開催できたことで、少しでも県内の問題解決につながったらうれしいです。これからも栃木県内に起きている様々な困難を、ともに解決できるよう宇都宮ブレックスとしてチャレンジし、力を発揮していきたいです。

◆ 困っている人へ食品をつなぐ。

「大学生の自分でもできることをしていきたい」

フードドライブの運営の中心はボランティア!特に、大学生が、寄付の受付やパンフレットの配布、活動内容の説明まで頼もしい限りでした。ボランティア特典で試合も観戦し、生で観るプロバスケットボールのスピード感と迫力に目を輝かせていたのも印象的でした。ボランティアをしてくれた大学生の安藤さんの感想です。

— 困っている人へ食品という形で手を差し伸べるこのつながりは、とても大切にするべきだと思います。裕福な人、日々の暮らしで精一杯な人など、街には様々な人がいます。大学生の自分ができることは限られているかもしれませんが、いろんな力を借りてこの先もこのような活動を続けていきたいと感じました。そして何より楽しかったです。また参加したいです!



ちょっとしたことで人は助かるし、喜びも増えます。その「ちょっと」に気づく人がつながり、広がり、「ちょっと」の行動の背中を押せたら、それだけで環(わ)が生まれると思います。今回もまた、新しい環が増えました。



(活動写真は 4 ページ目にあります!)

今月のSOS

FB 相談世帯数（食品提供回数）

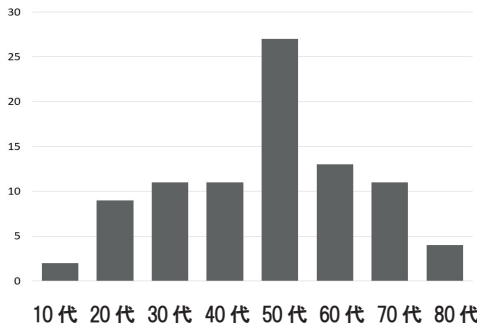
12月 132世帯（支援171回）

1月 135世帯（支援172回）

FB 主な利用理由(2022/12-2023/1)* 複数回答・総数 80 人

FB 年代別(2022/12-2023/1)新規利用 80 人

日々の生活 (低年金) 57	仕事探し・失業・ 就職 47		
	病気・健康・障害	債務(家賃滞納など含む)	DV・離婚など
	9	6	6
	精神疾患人間関係など	金銭管理	住居
14	6	5	3
		住居	住居
		2	2



制度・サービスにつながっていても困っています

コロナの影響での収入源、失職が途絶えません

今月のSOSの一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して抜粋掲載。

12/17 ● T・M 男 60代・宇都宮市。
月初めに漏電が原因で**火事**を起こし、現在市営住宅に仮住まい中。気持ちが落ち込み混乱している。親類に調理道具等は借りたが食品がない。
⇒米 5kg 食品 8kg 支援。

12/20 ● T・T 男 20代・宇都宮市。
10月末に宇都宮に来た。元彼女のアパートに居候していたが、追い出されてしまい1週間ホームレス。現在の所持金 120 円。知人に頼み仕事は決まりそうだが食べるものがない。
⇒調理不要の食品 4 kg 支援。

12/21 ● P・M 女 70代・宇都宮市。
同居していた息子から**家を追い出され**市営住宅で独居生活を始める。引っ越し等で年金を使い切ってしまう食料を買うお金が無くなってしまった。仕事が見つかり、勤務し始めた。
⇒米 3 kg 食品 5 kg 支援。

12/24 ● Y・K 女 40代・栃木県内。
夫と離婚子ども 2 人と 3 人暮らし。**養育費はもらえていない**。半年前にうつで働けなくなり離職。生活が立ちいかなくなりパートで働きだしたが薄給。お金なく、うつの治療にも行けず辛い。娘2人がともに来年は進学するので、お金を貯めなくてはならず焦っている。⇒米 20 kg 食品 11 kg 支援。

12/28 ● M. A 女 20代・栃木県内。
フィリピン国籍。日本で働く妹を頼り来日して3か月。在留カードをもらうことになっているが、仕事もできないし、**日本語も話すことができない**。妹の収入も少なく困窮した。⇒米5kg食品 33 kg 支援。

1/4 ● K. T 女 30代・宇都宮市。
障害者雇用枠で勤務。通常は収入 10 万円程だが、施設がコロナで休みに仕事が減ったり、自身の**コロナ感染**で休んで給料が 4 万円に。家賃を支払ったら残金がなくなり困窮。貯金ない。
⇒米 10 kg 食品 65 kg 支援。

1/11 ● S. S 女 40代・宇都宮市。両親が亡くなり、1 年ほど前に知人を頼り宇都宮に移ってきた。双極性障害で精神保健福祉手帳1級。人ごみでは過呼吸を起こす。収入は



障害基礎年金のみなので就労を考えたがドクターストップ。家賃は知人が大家のマンションに住めているので何とかなっているが、食費がなくなってしまいネットで調べて来所。
⇒食品 8 kg 支援。

1/12 ● D. T 男 80代・宇都宮市。
生活保護利用者。**金を落として**しまい所持金 300 円になってしまった。ガス、電気止まり 3 日間なにも食べていない。担当ケースワーカーが食品を引取りに来所。⇒調理不要の食品 5 kg 支援。

1/27 ● A. K 男 30代・宇都宮市。
コロナの影響で**勤め先が廃業**。半年間は給付金で生活し、それ以降は社協の貸付を利用。それも尽き生活保護の相談に行ってきた。働く意欲がわからない。家賃滞納し退去を求められている。
⇒調理不要の食品 5 kg 支援。

■ 糖尿病、ヘルニア、うつ… +不安定な就労

社会福祉協議会より紹介された田中ゆき子さんがFBに来所した。2年前に夫をがんで亡くし、娘の清子さんと息子の正雄さんの3人で暮らしている。ゆき子さんは糖尿病だが、気がついたら借金の返済が毎日の生活を圧迫し、5年前から治療が中断されてしまっている。

娘の清子さんは出生時に右肩の神経を損傷し、右手の麻痺がある。また、小学生の頃よりⅡ型糖尿病を発症しインシュリン治療の既往がある。特別支援学校を卒業後、一般就労していたが、重いものを運ぶ作業のせいか腰椎ヘルニアになり、さらにうつ病も重なり、就労が難しくなった。現在は障害年金の収入で、就労定着支援の障害福祉サービスを受けている。息子の正雄さんはパチンコ店のアルバイトに就いていたが腰痛があり仕事を休みがちだ。

■ 3人家族で20万5千円の収入では足りず

家族の毎月の収入は、ゆき子さんの遺族年金12万円+清子さんの障害年金6.5万円+正雄さんのアルバイト代(10万円程)から2万円。合計20万5千円ほど。家族3人の生活費

としては足りない。カードで携帯電話、公共料金、車の維持費などを支払っていた。さらに他界した夫の葬儀代金を分割払いしていた。



小澤勇治 ● 本会職員

SOSの 途中

家族そろって生活再建を

田中ゆき子さん(仮名・63歳)

■ 国保税滞納し、 医療から遠ざかる。解決策は？

気が付くと国民健康保険税が滞納に。「資格証明書」が発行される、とのことだが手続きが必要で未だ渡されず。ますます医療に遠ざかってしまっていた。

家計の立て直しに取り掛かることは課題であるが、とりあえずはゆき子さん、清子さんの体調が心配である。治療を中断したままでは借金返済もままならない。「まずは保険年金課の窓口へ国保税分割納付相談し、国保短期証を交付申請してください」とお話しした。そして無料低額診療事業を行っている医療機関を紹介した(こちらからも医療機関に直接診察を依頼しておいた)。

3週間後、笑顔の2人が来所し、担当してくれた医師からいろいろと生活の指導をしていただき、体重の変化も出始めたと報告してくれた。お礼といって小さなサクラソウの鉢植えを持ってきてくれた。今でもFB事務所でささやかに花を咲かせている。



FBでたすかりました

家族全員新型コロナに感染。途方に暮れた先に希望の光

澤田 周介さん(仮名 45歳)

障がい者枠で働きながら、妻と3人の子どもと一緒に生活しています。普段から生活はギリギリで、何とかやっていましたが、年末年始ということもあって出費がかさんでいました。そんな矢先、新型コロナウイルスに感染してしまい、働けなくなってしまいました。何とか早く回復して仕事に復帰したい…焦る気持ちとは裏腹に、家族全員がコロナ感染してしまい、買い物もできず、途方に暮れてしまいました。保健所の紹介でFBを知り、電話するとなんと食品を自宅まで持ってきてくれました。

普段から感染には気を付けていましたが、予期せぬ事態に温かい支援を差し伸べていただいたこと、大変感謝しております。ありがとうございました。

※基本的には配送は行っていませんが、緊急性の高さから、ボランティアの方にご協力いただき配送をしました



フードバンク応援団！

NPO 法人栃木県こども応援なないろ
皆川純子さん



子どもに食と衣服・ランドセルで応援！

当団体では、子どもへの食の支援と学生服支援事業を行っています。食の支援では、企業から食品ロスになる前の食品をご寄付いただき、幼稚園から大学院生に無償で提供しております。学生服支援では、学生服の寄付を募る回収BOXを設置し、県内の団体や業者に回収・安価での販売を依頼。栃木県内に食品ロス削減とリユース学生服の文化をつくるべく挑戦しております。

FB うつのみやにはお菓子などのご寄付をいただき、子どもに提供しています。また、食品配布会で当会に集まったリユースのランドセルを譲渡していただいています。本当にお困りのご家庭に渡して下さるので、とてもありがたいです。

今年の春休みより学習支援を始めます。こどもの未来をつくり地域の発展に寄与する事業になるよう努めます。

ボランティアのつぶやき

小島玲子さん



シルバー大学でフードドライブを

「子どもの貧困」というテーマに興味を持ち、あれこれ手探りしながらFBにたどり着いた。シルバー大学校在学中だったこともあり、学生に呼びかけフードドライブを行った。「フードバンク」を知らない人がほとんどだったが、たくさんの食品を頂いた。その後もフードドライブは毎年引き継がれている。

卒業後は、FBでボランティアをしたいと思っていたので、一昨年の秋より、週1回ほどだが食品管理のボランティアをしている。寄付して下さる人、食品を必要としている人、またそれを支える人などと接し、結びつきの深さを実感している。

普段の活動に加え、サンタdeランなどのチャリティイベントでも人の輪が広がって、子どもの貧困に対する認知度が上がることを願ってやまない。



▲フードドライブ ボランティアの皆さんと

フードドライブ ありがとうございます



▲ブラックス ホームタウン推進グループマネージャーの今井英二郎さん

会員・寄付者 ありがとうございます♡



「もったいない」を
「ありがとう」に。
会員を大募集中！
ボランティアも！

◆会費（年間）
◎正会員 12,000円
◎賛助会員 3,000円
◎団体会員 30,000円
◎学生サポーター 1,000円

1/31現在：正会員67人、賛助158人、団体15、学生2)

《12～1月の新規・継続会員》※敬称略

■正会員 / 積水ハウス不動産東京総社比叡東管理課 積水ハウス不動産東京総社宇都宮賃貸営業所
上野仁 檜山麗 石川信明 西村慎二 乃木正彦 加藤裕子 泉瀬弘 松本佑司 松尾美智子
星宮有子 並木孝夫 北村里香 漆原彦彦 木下一成 西岡隆 木下明 北岡吉民 牧岡健
佐藤ひとみ 飯塚真弘 他3名

■賛助会員 / 社福 みゆきの社 相澤拓 宮坂真耶 柴田貴史 藤咲健司 小松山悦子

北島さやか 坂本佳代 池田とし江 福田倫子 横井裕美 佐々木信嘉 木村礼子 若色美佐子
中野謙作 我妻英司

■団体会員 / クリティカル株式会社 (有)クイーン洋菓子店

《12～1月の寄付者》※敬称略

小林茂之 伊澤春代 小泉直哉 宮坂真耶 服部有 麦倉泰子 千島巖 八洋フーズ㈱ 鈴木登
桐畑光乃 赤羽路美 荒川寛 須黒雪枝 林俊夫 折原恵子 谷田敏彦 岩崎幸子 齋藤継正 安
藤佳代 林まるみ 小針雅美 関口和子 澤根千晴 村田恵子 伊藤広道 塚本明子 池田とし江
飯塚真弘 山崎純子 恵光寺 堀江裕弥子 高橋昭彦 永森裕子 生出一 百目木礼子 中村絹
江 若色美佐子 中村和夫 ㈱田中工業 他17名

会費・寄付はこちら ※匿名希望の方はご連絡ください

■銀行

栃木銀行 馬場町支店 普通 1086399

名義 / 特定非営利活動法人フードバンクうつのみや 理事徳山篤

※領収書発行のため、メールか電話で、氏名と連絡先をご一報ください。

■郵便局

宇都宮 00260-2-90882

特定非営利活動法人フードバンクうつのみや

■Web サイトから

クレジットカードでのご寄付もできます。



HP

Twitter